

令和4年度事業計画

令和4年4月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料・バックエンド研究開発部門

人形峠環境技術センター

人形峠環境技術センター（以下「センター」という。）は、令和4年度から始まる日本原子力研究開発機構の第4期中長期計画（～令和10年度）に基づき「研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」として、「安全を最優先とした持続的なバックエンド対策の着実な推進」を図るべく、ウラン取扱施設の廃止措置や鉱山関連施設の閉山措置、これらに関連する研究開発等を進めます。また、地域社会との共生及び成果普及への取り組みを継続します。

センターが推進する「ウランと環境研究プラットフォーム」については、センターが取り組む事業について、地元自治体・地域の方々・ウランと環境研究懇話会等からのご意見・ご提言を踏まえながら、また、地域住民に信頼される組織であり続けられるよう努力しながら事業を進めます。

令和4年度のセンターの取り組み事項は、以下のとおりです。

1.安全確保・環境保全に関すること

- 1) 基本動作の徹底、法令・ルールの順守、品質マネジメント活動、リスク対策、現場コミュニケーションを図りながら業務を進めます。
- 2) 施設の安全対策として、高経年化対策、耐震化対策及び自然災害対策を進めます。
- 3) センター各施設・設備、核燃料物質及び放射性廃棄物の安全かつ適正な管理を継続します。
- 4) エネルギー管理により計画的に省資源を推進し、地球温暖化防止等、環境に配慮した業務を継続します。

2.事業（開発・研究等）に関すること

- 1) ウラン濃縮原型プラントでは、原子力規制委員会から認可を受けた加工事業の廃止措置計画に基づき、設備の解体撤去を進めます。また、六フッ化ウラン

の譲渡及び譲渡に必要な詰替・洗浄設備の検討を進めます。

- 2) 濃縮工学施設では、設備の解体撤去、除染済部品のクリアランス対応等の処置を継続します。
- 3) ウラン廃棄物の処理処分の技術開発として、除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究や安全性評価等の環境研究を進めます。

以 上

令和4年度事業計画スケジュール

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 安全確保・環境保全に関すること												
(1) 安全確保を最優先とした事業実施活動の継続	基本動作の徹底、法令・ルールへの順守、品質マネジメント活動 リスク対策、現場でのコミュニケーション等の安全活動の実施											
(2) 施設の安全対策	高経年化対策、耐震化対策及び自然災害対策の実施											
(3) 各施設・設備、核燃料物質及び放射性廃棄物の安全かつ 適正な管理	施設・設備の維持管理 核燃料物質及び放射性廃棄物の管理											
(4) 環境に配慮した事業実施活動の継続	省エネルギー、省資源活動の実施											
2. 事業（開発・研究等）に関すること												
(1) ・設備の解体撤去 ・六フッ化ウランの譲渡及び詰替・洗浄設備の検討 (ウラン濃縮原型プラント)	設備の解体撤去 六フッ化ウランの譲渡及び詰替・洗浄設備の検討											
(2) ・設備の解体撤去 ・除染済部品のクリアランス対応 (濃縮工学施設)	設備の解体撤去、クリアランス対応											
(3) ・除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究 ・安全性評価等の環境研究	除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究 安全性評価等の環境研究											